

圧電応用製品群

ランジュバン型振動子

この超音波振動子は、2個の金属ブロック間に圧電素子を挟んだ一体構造の振動子です。

P.Langevin(仏)によって発明されたことからランジュバン型振動子と呼ばれています。

多くはリング状の圧電素子をボルトで締め付けて一体構造にしていることから、ボルト締めランジュバン型振動子とも呼ばれています。

高電力・高振幅駆動が可能で、超音波の動力的利用の一つとして多用されています。



ランジュバン型超音波振動子の特徴

- 機械的Qが高い
- 高強度・堅牢
- 機器への取付が容易
- 高変換能率・少ない発熱
- 入・出力特性のリニアリティー

主な用途例

- ワイヤーボンダー
- プラスチックウエルダー
- 超音波カッター
- 医用超音波メス
- 魚群探知機・水中ソナー

代表品種及び仕様

型式	寸法		特性仕様				ホーンへの 取付方法
	外径	高さ	周波数	アドミタンス	静電容量	最大入力	
	mm		kHz	mS	pF	W	
FBL15604SS-FC	60	(167)	15	100	11500	2400	ボルト締付
FBL20504SS-FC5	50	(122.7)	20	150	13000	2000	ボルト締付
FBL28302SSF-FC	30	(91)	27.9	30	3000	200	ボルト締付
FBL28252SSF-FC	25	(93.4)	27.9	30	2300	100	ボルト締付
FBL40304SS-FC4	30	(57.6)	39.5	100	8500	200	ボルト締付
FBL40152SSF-FC	15	(64.6)	40	12	900	25	ボルト締付
FBL50152H-FC	15	(55)	50	9	900	20	一体型
FBL60152SS	15	(42)	60	9	900	15	ボルト締付

代表品種の外形寸法

